平成 27 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(向原地区)

開催日時	平成 27 年 11 月 25 日 (水) 午後 7 時から午後 9 時	天気 雨
場所	下本村コミュニティセンター	
町民参加者	男 24 人 女 1 人 (40 代以下 0 人、50 代 3 人、60 代以上 22 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画財政課長、総務防災課長、環境農林課長、上下水道課長、定住対策室長、事務局 2 人	

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：自然災害に対する未然防止への提言（治山治水）》

- 防災組織はあるが高齢化や防災知識の万全でない人が役員を順番に行っているため組織が形骸化してきている。このような現状であるため、町の方でリードして、自主防災組織を立て直してもらうことについて要望をしているが、町としてどのように考えているのか。
- 防災訓練の内容は地震を想定したものではなく、土砂災害を想定して実施していくことも必要ではないかと思う。
- 災害が起きたときに体の不自由な方はいられる。その際に体育館等で多くの人と同じ場所にいる場合、本人が周りを気にして精神的疾患になる場合もある。そのため、介助が必要な人たちが集まれる福祉避難所を用意する必要があると思う。
- 水上地区において、多くの場所が土砂災害警戒区域になっている。丸山について、周りが土砂災害警戒区域になっているのは、トヤマが建設されたことが関係しているのか。
- 新たに水上地区に住んでいる人は、特に急傾斜地について意識をしないで住んでおり、住民登録した際にも特に町から危険性についての説明は無いが、予防策について優先的に考えてもらえるのか。
- 御殿場線について、雨が降るとすぐに運転を見合わせてしまう。県で土砂災害警戒区域として指定されてしまっているため、JRが止めてしまうのではないか。
- 避難場所として山北高校と山北中学校が指定されている。昨年は自主避難場所として試しに向原児童館と下本村コミュニティセンターで開設をしたが、自治会長が来ないと鍵を開けることもできないことや、その際に管理する人も決めていない。そのため昨年、山北高校と山北中学校を自主避難場所として指定できないか伺ったが、その後指定はできたのか。

○松田用水が元禄沢を横断している場所は沢の断面が狭くなっている。改修はすぐにはできないと思うが、確認していただきたい。

○元禄沢の堰堤が10年近く前からいっばいになっている。地区内各沢の堰堤の調査を行ってほしい。

○大口橋下流の河川敷にブルドーザーが入って何らかの工事をしている。対岸には南足柄市のパークゴルフ場などがあり、対岸が高台になると、大口からの濁流が向原の土手にぶつかって洪水を起こす危険性がある。河川管理者である県西土木がどういう考えをもって行っているのか、確認をしてほしい。

《テーマ：町政全般》

○東山北駅からぐみの木公園を通って大口橋に行く道が整備されようとしているが、人が歩いていくと大口橋を渡って南足柄へ行くような道になっている。岸地区の方へ足が向くような散策ルートを整備できないか。

○羽田コンクリートが操業停止しており土地が広いが、他の企業を誘致するといった話しはあるか。町の活性化を考えても、非常に良い場所だと思うので是非誘致をしてほしい。

○こども110番の標識が見えにくくなっている。役場でどうにかしてもらえるか。